

世界ゴルフ場
めぐり

ヒマラヤ山脈の麓で 豪快シヨットを！



雄大なアンナブルナ南峰やマチャブチャレ山に向けての、快心の一打をお試し下さい。



有刺鉄線はヤギが芝を食べないためなのでご安心を。



コースにはビジャイブル川が流れる。



ヤギのほかにも狐、鷹などの動物がコースへ来ることも。



オーナー特製のアッサムティーはクラブハウスで。

このトリッキーなコースデザインは、イギリスのサンドハー（陸軍士官学校）を卒業したネ

が、3年にも及ぶ工事の末ゴルフ場は完成した。

そして、深いセティ峡谷の中に奇跡のゴルフコースがあった。

その名は「ヒマラン・ゴルフコース」。かつては切り立った断崖と石だらけの荒地だった

が、3年にも及ぶ工事の末ゴルフ場は完成した。

ネパールには高度によって亜熱帯気候から亜寒帯気候まで様々な気候風土があり、動植物の宝庫だ。平均気温は雨季には27度、乾季では12度と比較的ゴルフに適している。

バンコクから飛行機でわずか3時間のネパール。その首都カトマンズより東へ飛び1時間、ポカラの街に降り立った。

ポカラ市内のレイクサイドから車で7キロも走れば、信じられない雄大な景観と出くわす。

そして、深いセティ峡谷の中に奇跡のゴルフコースがあった。

その名は「ヒマラン・ゴルフコース」。かつては切り立った断崖と石だらけの荒地だった

が、3年にも及ぶ工事の末ゴルフ場は完成した。

このトリッキーなコースデザインは、イギリスのサンドハー（陸軍士官学校）を卒業したネ

世界各地のトレックカーが愛する聖地、ネパール。首都カトマンズから空路1時間。ここはリゾート地としても名を馳せるポカラである。山・湖・川と自然に恵まれ、まさに桃源郷だ。この地に知られざるゴルフ場があった。

Golf in Nepal Watching Himalaya

ゴルフ後は持参したエベレスト・ビールを片手に夕陽に染まる山に乾杯。



ポカラ市内からゴルフ場まで道中は悪路。腰痛の方はお気をつけください。



グリーンフィーは 18 ホール (9 × 2) で 30 ドル、貸しクラブ 15 ドル。



カトマンズでお馴染みのお寺、スワンヤブナートテンブル。通称モンキーテンブル。



ポカラ市内で送迎を頼むと約 10 ドル。



ネパールといえば古都バタンが魅惑的。



カトマンズの市場はインド同様の喧騒。

パールオーナー・ガラング氏によるもの。また「Ekream Golf (洋書)」に紹介されるほど評価が高い。

河岸段丘の頂点から白く輝くアンナプルナ峰方向に打ち出すティショットは、爽快なもの！ 標高が 800 メートルもあるため、平地よりも飛距離が伸びるといった嬉しいサプライズ付きだ。

フェアウエーは、一流コースのように徹底管理された芝とは違いワイルド。ラフもかなり手強い。しかし崖下のホールへ降りる際は、ショート・トレッキング気分を楽しめ一石二鳥か。上り降りはメタボな方々泣かせであるが。

残念ながら、コースには酒と女性キャディーは用意されていない。ここは崇高な自然を愛で豪快なショットに挑戦するゴルフコースなのだ。

● ヒマヤンゴルフコース
Ward No.14 Majheripatan
Pokhara Nepal
www.himalayangolfcourse.com/